

平成22年9月21日(火)
照会先:健康局総務課
(ダイヤルイン) 03(3595)2207

疾病・障害認定審査会 原子爆弾被爆者医療分科会

平成22年4月、5月、6月審査分の処分状況について

今般、平成22年4月、5月、6月に原子爆弾被爆者医療分科会において審査を行った原爆症認定申請に係る処分状況についてとりまとめましたので、お知らせいたします。

今後は、3ヶ月に1回、公表していく予定です。

1 審査月別処分状況

<審査月別認定・却下件数(単位:件)>

審査月	認定	却下	合計
平成20年度	2,919	62	2,981
平成21年度	2,807	2,134	4,941
平成22年4月	95	358	453
平成22年5月	119	386	505
平成22年6月	34	619	653
合計	5,974	3,559	9,533

2 疾病別処分状況

< 認定疾病別認定状況（単位：件） >

認定疾病名	認定件数
悪性腫瘍	175
白血病	26
副甲状腺機能亢進症	2
放射線白内障	4
放射線起因性が認められる心筋梗塞(急性冠症候群を含む)	14
放射線起因性が認められる甲状腺機能低下症	13
放射線起因性が認められる慢性肝炎・肝硬変	8
上記以外の疾病	6
合計	248

< 申請疾病別却下理由（単位：件） >

申請疾病名	放射線起因性が認められないため	要医療性が認められなかったため	放射線起因性及び要医療性が認められないため
悪性腫瘍	243	106	85
白血病	28	19	5
副甲状腺機能亢進症	7	4	0
白内障	240	5	24
心筋梗塞(急性冠症候群を含む)	257	0	20
甲状腺機能低下症	111	0	8
慢性肝炎・肝硬変	54	1	9
上記以外の疾病	277	3	0

※複数の申請疾病がある場合は重複して計上しているため、申請件数とは合致しない。

※放射線起因性が認められないと判断された場合の例

- ①原子爆弾の放射線に起因する疾患を発症するほどの放射線被曝がなかったと判断された。
- ②申請された疾患と放射線との因果関係が証明されていないと判断された。
- ③放射線起因性が指摘されている疾患に罹患しているが、申請者の年齢（加齢とともに白内障、心筋梗塞は増加する）、生活習慣（喫煙、肥満によって心筋梗塞は増加する）、持病（高血圧、高脂血症、糖尿病によって心筋梗塞は増加する）、特徴的な所見（放射線白内障には特徴的な所見がある）等を分科会において考慮し、放射線起因性がないと判断された。
- ④提出された資料からは疾患が存在するかどうか判断できないと判断された。

※要医療性が認められないと判断された場合の例

- ①放射線起因性のある疾患に罹患しているものの、治療が必要な段階ではない（検査値にやや異常があるが、症状がなく治療を必要としないなど）と判断された。
- ②放射線起因性のある疾患に罹患していたが、手術等の治療の結果、該当疾患に対する積極的な医療が必要ではなくなったと判断された。